

平成 30 年度競輪補助事業



実施完了のお知らせ

この度平成30年度の競輪の補助を受けて下記の事業を完了いたしました。
ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、
協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

補助事業名：障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

1. 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

肢体不自由児者への合理的配慮に基づく～障害者権利条約を批准して私たち生活はどう変わったか～と題し執筆依頼した。権利条約によって障害者の生活の変化について変わってきているが過去と比べるとどのように変わったのか知らない人も多いただろう。障害者の生活に影響を与えはじめていること等についてわかり易く解説した指導誌となった。

障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行



療育ハンドブック

指導誌「療育ハンドブック」

平成30年9月20日発行 B6版 58ページ 6000部

「肢体不自由児者への合理的配慮に基づく～障害者権利条約を批准して私たち生活はどう変わったか～」

障害者権利条約について課題や問題について具体的に書かれている者である。「障害者差別解消法が生み出しつつある変化」「障害者権利条約の影響」といったような疑問を掲載している。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

機関誌「いずみ」

ア 平成30年6月20日発行 A4版 32ページ 4000部

平成30年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、平成31年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、医療的ケア児等に対する医療情報共有基盤構築について、在宅での入浴介助・支援に関するアンケートなどを掲載。

イ 平成3年12月20日発行 A4版 32ページ 4000部

JKAの実施報告、療育キャンプ報告、アンケート集計結果、事業内容報告、中央情勢報告。



いずみ No149



いずみ No150

2. 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を経験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また社会参加体験事業ではバスを使って外出体験や集団行動で協調性や自立性を促すことができる。障害当事者と家族、支援者(ボランティア)相互の交流・情報交換を図る。

療育キャンプ事業、社会体験事業の実施

医師や学識経験者、専門指導員による訓練や指導。社会性の向上を図るために、外出体験や集団行動でも共生を身に付ける。

療育キャンプ（日帰り）

ア	平成30年7月21日	48名	静岡県	「静岡県中央特別支援学校」
イ	平成30年8月27日	45名	石川県	「いしかわ総合スポーツセンター」
ウ	平成30年11月25日	54名	愛媛県	「新居浜市総合福祉センター」

ア



イ



ウ



社会体験事業

ア	平成30年9月7日	29名	大阪府	「大阪市舞洲障がい者スポーツセンター」
イ	平成30年10月27日	27名	東京都	「サンシャイン水族館」
ウ	平成30年11月24日	27名	神奈川県	「富士花鳥園」

ア



イ



ウ



3. 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー

子の成長とともに親も歳をとっていきお風呂に入れることが腰に負担がかかったりして難しくなっていく。負担を少しでも減らせる方法を知ることによって日常生活が大きく変わってくる。

携帯やタブレット端末の普及により様々な方法でコミュニケーションをとることが可能になった。何をを使ってどのように使ったらいいのかわかることでコミュニケーションをテーマに講師を迎え講義を行なうとともに参加者によるグループ討議を7ヶ所で実施した。

ア	平成30年6月30日～7月1日	33名	徳島県	「シビックセンター」
イ	平成30年7月21日～22日	29名	秋田県	「ぼぼろっこ」
ウ	平成30年9月7日～8日	62名	栃木県	「TKPガーデンシティ宇都宮」
エ	平成30年11月10日～11日	29名	三重県	「じばさん三重」
オ	平成30年11月15日～16日	26名	北海道	「かでの2.7」
カ	平成30年11月17日～18日	34名	宮崎県	「ホテルスカイタワー」
キ	平成30年12月1日～2日	53名	滋賀県	「ホテルボストンプラザ草津びわ湖」

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ

